

問 いじめ防止対策の検証は

答 いじめの撤廃に全力で取り組む

松井 甫 議員

**問** 文部科学省がいじめの実態調査の結果を公表しました。いじめの広がりや根深さを改めて実感させられます。私たちは、今一度、宍粟の現実を見つめ直し、学校・家庭・地域の役割を検証する必要があります。つきましては、次の点についてお伺いしたい。まず、宍粟のいじめの現状と対策を問う。次に保護者等の相談体制は十分かを問う。次にいじめに対して、対応と結果に問題はなかったか問う。最後に宍粟市いじめ防止対策条例（仮称）の制定を問う。

まず、いじめの現

**教育長**

状は、小学校で1件、

中学校で4件の計5件です。いじめへの対応は、いじめはどの学校にも存在するという心構えで子供たちを見守る。どんな理

由でもいじめは悪い。いじめられてる子に寄り添って指導する。全職員が共通理解のもとで対処している。本年度発生したいじめは、全て解消しました。次に対応としては、いじめを始め児童・生徒間のトラブルなど双方の言い分や事実確認も行い問題解決を図っています。また、対応の結果として先生がいじめをした子供たちに相手の痛み辛さをしっかりと伝える中で、いじめの不当性を理解させ非も認めたと上で相手に謝罪させる。最後に条例の制定は今のところ考えていない。



放課後校庭で遊ぶ子供達

問 健全な財政運営は

答 大丈夫と申し上げたい

小林 健志 議員

**問** 今、宍粟市では新庁舎建設、県産木材供給センター、地域情報化事業等が計画され進められているが、急ぎ過ぎではないか。国県は地方への補助をなるべく削減する意向で、非常に不透明である。又、宍粟市には759億円の借金もある。これからの財政は大丈夫なのか市長に伺う。

**市長**

宍粟市の実質公債費比率は19.7%で、兵庫県下の比率の高い方から10番目であり公債費負担の軽減は今後大きな財政課題の一つである。国県がこれまでに約束した起債等については反故になることはないと考えているが、地方交付税はなお一層減少してくる可能性は高い。そういう中で、私どもは行政改革を厳しく行い財政

基盤を確立し、今やらなければならぬ課題・事業に取り組む成果を市民の皆様にも実感していただく。厳しい財務状況の中で、健全な財政計画を策定しながら、10年後の平成28年には実質公債費比率も18%を切るという状況を目指として、今計画を立てて実現に向けて取り組んでいる。そういう意味では大丈夫と申し上げたい。「今やらなきゃならぬ」という判断の下に、事業は推進していく必要があると考えている。



建設中の新庁舎